

視聴覚教育

視聴覚ライブラリー 二千周年 記念

NO 110
 発行日 60.2.1
 発行 岡崎市AVL
 編集
 広報委員会

映像 フェスティバル

一月二十四日(日) 午前十時・七きれいホール

昭和二十九年五月、「岡崎市小中学校視聴覚教育協会」が設立されてから、本年度は満二十年を迎へた。

その間、昭和四十八年六月には、学校教育と社会教育とが一体にして現在の「岡崎市視聴覚ライブラリー」の誕生をみるこゝろに至つた。

16ミリ映画、自作の8ミリ映画、そしてラジオが全盛である時代から、テレビビデオが主たるもの現存に、このまでの二十年間をさぐる。

今年度は、市内全中学校へパソコンが設置され、また、市内全小中学校へのテレビによる校内放送、双方向システム導入計画を

本年度を完結する。正にユーメディア時代開幕の年である。視聴覚ライブラリーで知られた記念すべき年であり、この月二十四日(日)、午前十時より、七きれいホールにおいて、視聴覚ライブラリー二千周年記念、映像フェスティバルを開催する。なお、本行事にあつては、学校関係者や市民の皆様より集めていただくべく、四十名を希望募集がある。表彰並びに優秀作品の発表会は、映像フェスティバルの席上で行つ。また、昭和五十九年度岡崎市自作テレビ作品入賞者の表彰を同時に実施する。より多くの皆様方が、ご参加いただけるように願つてゐる。

・映像フェスティバル主プログラム内容

午前八・三〇 受付

一〇・〇〇 式典開始

・三十年の歩みスライド

・自作ビデオ入賞者表彰

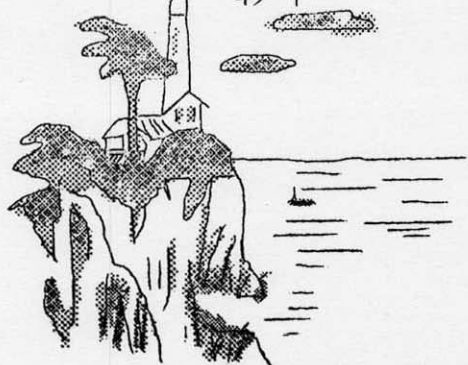
・自作テレビ入賞者表彰

・優秀ビデオ作品鑑賞

一一・三〇 式典終了

午後二・〇〇～三・〇〇

・子ども向け映画会



『博物館より』の製作

岡崎市立成北中学校

山本 満夫

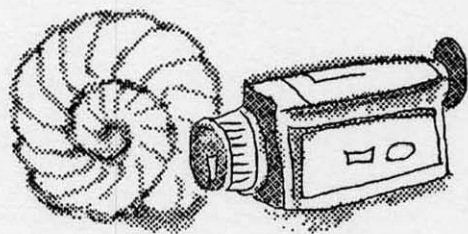
「校内テレビ放送の見直し」というテーマで四月から放送委員会がスタートした。本年度は、各委員会をタイアップして広報番組の制作に挑戦する事が加わった。

そこで現在、いちばんの人気番組と評されている「成北博物館にようこそ」が生まれた。いろいろなストーリーや音楽が合われて、展示品の紹介をするというユニークな番組である。すべて生徒の手で行われ、意欲的な活動となっている。

寸劇のような時もあるが、博物館に对する認識が高まっている。

他に生活委員会、生徒会と連絡を取りあつて番組制作を行っている。

今後は、番組の精度と制作時間の短縮が課題であると思ふ。その解決の手段として、双方向システムの活用があげられる。生徒の意見に、迅速にこたへる努力をしていこう。



高品位テレビ

用語

現行のテレビの走査線数が、525本に約1.5倍となり、画面上の縦横比は、4から3.5へと横長のアスペクト比が確保されている。また情報量は約1.5倍となり、格段にその細かさが、質感に富んだ画面のテレビ。迫力と臨場感にすぐれた、魅力ある映像は、次世代のテレビとして期待されている。

ビデオカメラ・ビデオカメラ装置が完成

従来のように、ビデオカメラのカメラ部分は、各種のテープによって、ビデオ機器の配線とつながるようになっていきました。この度、ビデオカメラ装置としてラックの中ビデオカメラの収納・積線としました。そのために、ボタンの装置により、どのようなテープでもビデオカメラに、最大限のビデオカメラが同時に、また二つのテープから同時に4本ビデオカメラがビデオカメラになりまいた。今までは利用を期待していましたが、

ライブラリーより

芸 会 音 楽 生 活 楽 隊
ライブラリーは鳥の鳴き声風波
学 生 楽 隊 があり、是をライブ利用ス。